

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	世界遺産登録記念展示事業				シート番号	008-042
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸	課 評価責任者(課長名)
						増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	平成 30 年度		終了(予定)年度	令和 3 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	博物館法・文化財保護法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録を見据え、登録機運の醸成と来訪者の古墳群への理解の促進、満足度向上のため、博物館古代常設展示を更新するとともに、登録年と前後のあわせて3年にわたり企画展・特別展を開催する事業として実施することになった。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	本市への来訪者及び市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	世界文化遺産登録を見据え、登録機運を醸成するとともに、来訪者の古墳群への理解の促進をはかり満足度を向上させる。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	①企画展・特別展の開催 登録年と前後のあわせて3年にわたり百舌鳥古墳群とその時代に関連する企画展・特別展を開催している。平成30年度は企画展「堺に薫がやってきた—古墳時代・やきものの技術革新—」を開催し、令和元年度は「百舌鳥古墳群—巨大墓の時代—」と題し、各地の古墳群と百舌鳥古墳群を比較して古墳の謎に迫る特別展を開催した。令和2年度は5世紀の東アジアとの交流から、百舌鳥古墳群を考える特別展を開催する。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先	委託業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

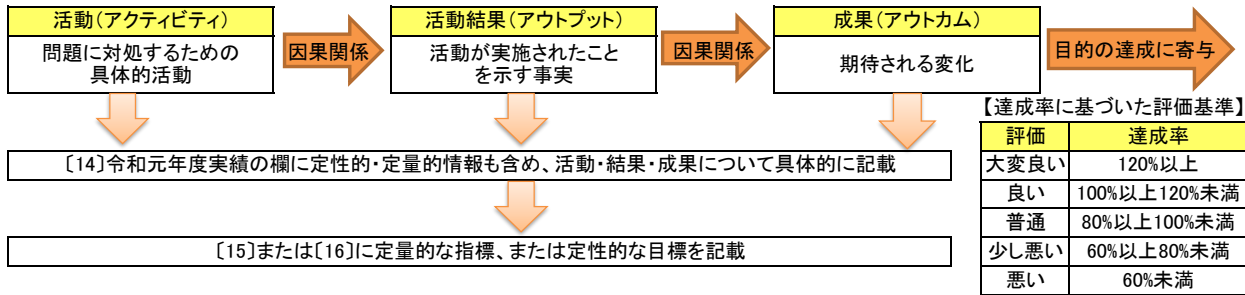
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
事業費 (a)	千円	0	0	16,066	11,169	16,755	12,506	24,316	
主な事業費内訳	委託料	千円		13,551	10,284	14,680	10,935	20,798	
	旅費	千円		2,165	835	1,700	1,108	1,715	
	報償費	千円		50	50	120	179	461	
		千円							
	国・府支出金	千円							
	財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円		565	149	3,268	6,088	8,029
		市債	千円						
その他(基金繰入金・物品売払収入)		千円		5,600	5,100	1,000	608		
一般財源	千円		9,901	5,920	12,487	5,810	16,287		
12 人件費 (b)	千円		0	5,740	9,040	14,640	11,400	15,760	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	21,806	20,209	31,395	23,906	40,076	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	世界遺産登録記念展示事業	シート番号	008-042
-------	--------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	○特別展の開催「百舌鳥古墳群－巨大墓の時代－」令和元年7月6日～9月23日 ○令和2年度特別展の準備業務						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		観覧者総数	人	目標値		15,000	30,000	40,000
				実績値		14,630	40,821	
				達成率		98%	136%	
	評価				普通	大変良い		
	算出方法・設定根拠など		観覧者実数					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			目標値					
			実績値					
達成率								
評価								

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	特別展観覧者総数	人		14,630	40,821
	②	上記①にかかる年間経費	千円		20,209	23,906
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		1,381	586
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		世界遺産への登録が実現し、博物館の観覧者が大幅に増加した。特別展の観覧者も同様であり、世界遺産登録の影響は非常に大きいものであった。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	世界遺産登録記念展示事業	シート番号	008-042
-------	--------------	-------	---------

≪ V. 点検 ≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○ 上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

	確認
--	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できる <input type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 本来令和2年度で終了する事業であったが、コロナ禍により令和3年度で終了することになった。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録の機運醸成から登録記念、そして登録1周年を祝する3か年に及ぶ特別展示事業である。令和2年度のコロナ禍の影響により、登録1周年記念展の会期が年度をまたぐ形での開催となった。令和3年3月13日の博物館のリニューアルオープンに併せて、百舌鳥古墳群の歴史的価値や魅力について発信を強化するとともに、令和3年度については、経費の縮減を図りながら事業を実施しつつ、会期終了後に本事業は廃止する。		